

前回の男女共同参加に関する町民アンケートや県数値との比較（抜粋）

問 2) 男女の地位が平等になっていると思いますかの間で「平等」と答えた方の比率

	おいらせ町		県	
	H30.2	R5.2	H27	R2
家庭生活	37%	44.7%	24.1%	26.5%
職場	26%	32.1%	18.4%	22.8%
学校教育	59%	47.1%	45.5%	39.1%
政治の場	14%	11.1%	9.4%	5.4%
法律や制度	30%	27.4%	26.9%	26.9%
慣習・しきたり	18%	13.2%	10.5%	9.6%
地域活動の場	37%	35.3%	41.5%	35.2%
社会全体	18%	13.1%	13.2%	10.4%

- どの項目においても、県に比べ「平等」と答えた方が上回っているが、「家庭生活」「職場」を除いて、前回調査よりも下回っている。

問 3) 「夫は外で働き、妻は家庭を守るべきである」という考え方について、どう思いますか。

	おいらせ町		県	
	H30.2	R5.2	H27	R2
賛成	6.7%	3.8%	6.9%	5.9%
どちらかといえば 賛成	30.9%	22.8%	38.0%	29.7%
どちらかといえば 反対	27.0%	34.0%	26.8%	31.9%
反対	19.5%	26.7%	18.7%	24.2%

- 「どちらかといえば反対」と「反対」の合計が前回の 46.5%から 60.7%となっている。また、県の R2 の「どちらかといえば反対」と「反対」の合計 56.1%より上回っている。

※青森県の数値の資料：青少年・男女共同参画課「平成 27 年県意識調査」
青少年・男女共同参画課「令和 2 年県意識調査」

問6) あなたは、今後、男性が家事、育児、介護に積極的に関わり、役割を分担していくためにはどのようなことが必要だと思いますか。

	H30.2	R5.2
1位	夫婦や家族間でのコミュニケーションをよくはかること	夫婦や家族間でのコミュニケーションをよくはかること
2位	男性が家事などに参加することに対する男性自身の抵抗感をなくすこと	男性による家事、育児、介護について、職場における上司や周囲の理解を進めること
3位	労働時間の短縮や休暇制度を普及・活用し仕事以外の時間をより多く持てるようにすること	労働時間の短縮や休暇制度を普及・活用し仕事以外の時間をより多く持てるようにすること

問7) あなたが理想だと思う女性の働き方はどれですか。

	H30.2	H30.2	R5.2
1位	結婚や出産にかかわらず、ずっと職業をもつ	41.7%	48.8%
2位	子育ての時期だけ一時的にやめて、その後はパートタイムの職業をもつ	24.0%	22.0%
3位	子育ての時期だけ一時的にやめて、その後はフルタイムの職業をもつ	19.8%	18.3%

問10) あなたは、女性が出産後も離職せずに同じ職場で働き続けるために、家庭・社会・職場において必要なことは何だと思いますか。

	H30.2	R5.2
1位	保育所や学童クラブなど、子どもを預けられる環境の整備	保育所や学童クラブなど、子どもを預けられる環境の整備
2位	女性が働き続けることへの職場の管理職や上司の理解・意識改革	男性の家事・育児参加
3位	女性が働き続けることへの家族等の理解・意識改革	女性が働き続けることへの職場の管理職や上司の理解・意識改革

問1 2) あなたは、ワーク・ライフ・バランス※¹（仕事と生活の調和）が実現された社会に近づくためには、企業による取組として、どのような取組が必要だと思いますか。

	H30. 2	R5. 2
1 位	育児休業・介護休暇をとりやすくする	給料を上げる
2 位	社長や役員などの経営トップが先頭に立って取り組む	育児休業・介護休暇をとりやすくする
3 位	管理職の意識改革を行う	無駄な業務・作業をなくす

問1 3) あなたは、性別に配慮した防災・災害対応・復興対策のためにはどのようなことが必要だと思いますか。

	H30. 2	R5. 2
1 位	更衣室やプライバシーの確保など、性別に配慮した避難所運営を行う	更衣室やプライバシーの確保など、性別に配慮した避難所運営を行う
2 位	避難所の設置・運営について、物事を決める際には男女を交えた話し合いをする	避難所の設置・運営について、物事を決める際には男女を交えた話し合いをする
3 位	避難所でのリーダーや炊き出しなどの役割を固定せずに分担する	避難所でのリーダーや炊き出しなどの役割を固定せずに分担する

問1 4) 結婚している、または結婚したことのある方にお聞きします。

あなたはこれまでに、配偶者（事実婚や別居中を含む）から、次のような暴力（DV：ドメスティック・バイオレンス）をされたことはありますか。

	何度もあった		1・2度あった	
	H30. 2	R5. 2	H27	R2
身体的暴行	5%	2.0%	8%	10.7%
心理的攻撃	6%	7.3%	10%	10.1%
経済的圧迫	4%	3.2%	5%	5.2%
性的教養	2%	1.2%	4%	3.2%

問17) あなたは、配偶者や交際相手からの暴力、性犯罪、ストーカー行為、セクシャル・ハラスメントなどを防止するためには、どのようなことが必要だと思いますか。

	H30.2	R5.2
1位	被害者が早期に相談できるよう、身近な相談窓口を増やす	被害者が早期に相談できるよう、身近な相談窓口を増やす
2位	加害者への罰則を強化する	加害者への罰則を強化する
3位	家庭で保護者が子どもに対し、教育を行う	学校・大学で生徒・学生に対して、教育を行う